

環境研究総合推進費制度における研究課題
令和6年度 追跡評価結果報告書

令和7年3月

環境省大臣官房総合政策課

環境研究技術室

目 次

第Ⅰ部 追跡評価結果.....	3
1. はじめに.....	3
1.1 調査の目的.....	3
1.2 調査の内容と方法.....	3
1.3 調査フロー.....	6
1.4 調査の実施・評価体制.....	7
2. 評価結果.....	8
2.1 追跡書面調査の結果.....	8
2.2 制度書面調査の結果.....	13
2.3 追跡・制度個別調査結果.....	17
2.4 環境研究総合推進費制度の充実に向けて.....	25
第Ⅱ部 資料編.....	28
1. 追跡書面調査結果.....	28
1.1 追跡書面調査の実施.....	28
1.2 調査結果の概要.....	28
1.3 調査結果.....	30
2. 制度書面調査結果.....	67
2.1 制度書面調査の実施.....	67
2.2 調査結果の概要.....	67
2.3 調査結果.....	68
3. 追跡・制度個別調査結果.....	98
3.1 追跡・制度個別調査課題の選定.....	98
3.2 追跡・制度個別調査の結果.....	102
4. 書面調査票.....	123
4.1 追跡書面調査票.....	123
4.2 制度書面調査票.....	134

要旨

環境省の競争的資金制度である環境研究総合推進費によって実施され、令和 3 年度（2021 年度）及び令和 5 年度（2023 年度）に終了した研究課題を対象として、追跡評価を実施した。追跡評価にあたっては、令和 3 年度終了研究課題の研究代表者に対する追跡書面調査及び追跡個別調査（ヒアリング調査）により、環境行政への反映状況、成果の実用化の状況等を調査した。また、令和 5 年度終了研究課題の研究代表者に対しても制度書面調査及び制度個別調査（ヒアリング調査）を行い、課題採択プロセス、中間評価実施方法等への意見等を整理した。

これらの結果をもとに、追跡評価専門部会（有識者8名で構成）において、今後の環境研究総合推進費制度の充実に向けた諸課題及び対策の検討を行った。

調査の結果、環境研究総合推進費制度は全体としては概ね順調に機能していることを確認した。

また、制度の一層の充実に向けた課題についての示唆が得られた。主な示唆は次のとおり。

- ・ 行政ニーズ形成にあたり、プログラムアドバイザー（PA）と環境省関係課室の意見交換等、取組を充実させてきたところであり、研究者から概ね好意的に受け止められている。また、研究成果の政策への活用状況について、研究者からフィードバックを求める意見もある。推進費の成果、環境政策への反映状況等について積極的な発信が望まれる。
- ・ 行政推薦課題では、環境省担当官との情報交換や行政の視点からのアドバイスが有意義であったとしている。また、推薦を受けなかった課題においても担当官の支援に対して肯定的な意見があった。研究者と行政担当者の実質的な意見・情報交換の促進は、政策貢献する研究を推進する上でも重要であることから、一層の推進が望まれる。
- ・ 「ミディアムファンディング枠（MF 枠）」や若手枠に若手枠B（300 万円以下）を設けるなど、公募枠の多様化に取り組んでおり、肯定的な意見が多くあった。一方、求められる成果や資料、手続きなどにも配慮すべきとの指摘もあった。公募枠の多様化に伴う評価委員や事務・PO の負担増への対応など、毎年の実施状況を多角的に点検し、適宜最適化していく必要がある。
- ・ 推進費制度のプロモーションは重要になっている。SNS による発信やイベントでの一般向けポスターの作成など取組んでいるところである。推進費は単なる研究や技術開発だけではなく、そこから環境政策へと繋げられる競争的資金制度であることなど、推進費の特徴を研究者やその所属機関に対して、一層アピールすることが重要である。大学や研究機関に対し研究者に推進費に関する情報を発信・周知していただくよう、一層の働きかけをしていくことも考えられる。
- ・ 令和2年度制度評価報告書を受け、行政ニーズの形成プロセスや戦略的研究開発課題の形成プロセスの見直し、ミディアムファンディング枠（MF 枠）や若手小規模枠（若手枠 B 枠）といった小規模枠の設定、研究者・評価委員等の負担軽減に向けた中間評価や事後評価方法（書面審査・ヒアリング審査）の見直しなど、推進費制度の大きな見直しが進められてきている。引き続きこれら見直しの効果についても点検していくことが必要である。

Summary

The Ministry of the Environment conducted a follow-up survey of the Environmental Research and Technology Fund, a competitive fund implemented by the Ministry.

In the current fiscal year 2024, the follow-up survey targeted the research and development topics that ended in FY 2021 and FY2023.

On the basis of the surveys, the Evaluation Committee comprising 8 experts discussed and identified matters that will contribute to the system management of the Fund in the future.

As a result of the survey, it was confirmed that the Environmental Research and Technology Fund system is generally functioning smoothly as a whole.

Suggestions for further enhancement of the system were also obtained.